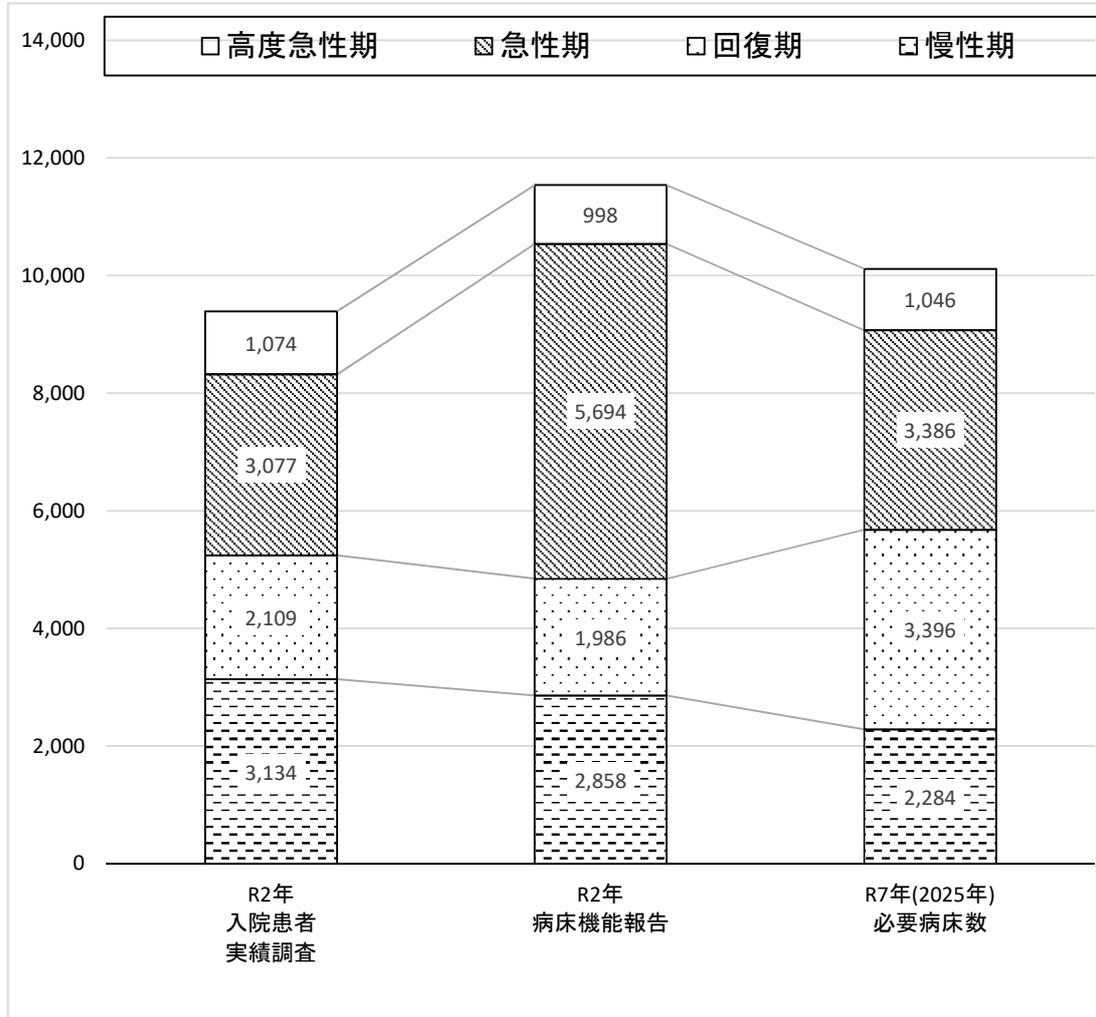


令和2年度入院患者実績調査結果

I 令和7年(2025年)の必要病床数と入院患者実績調査の比較

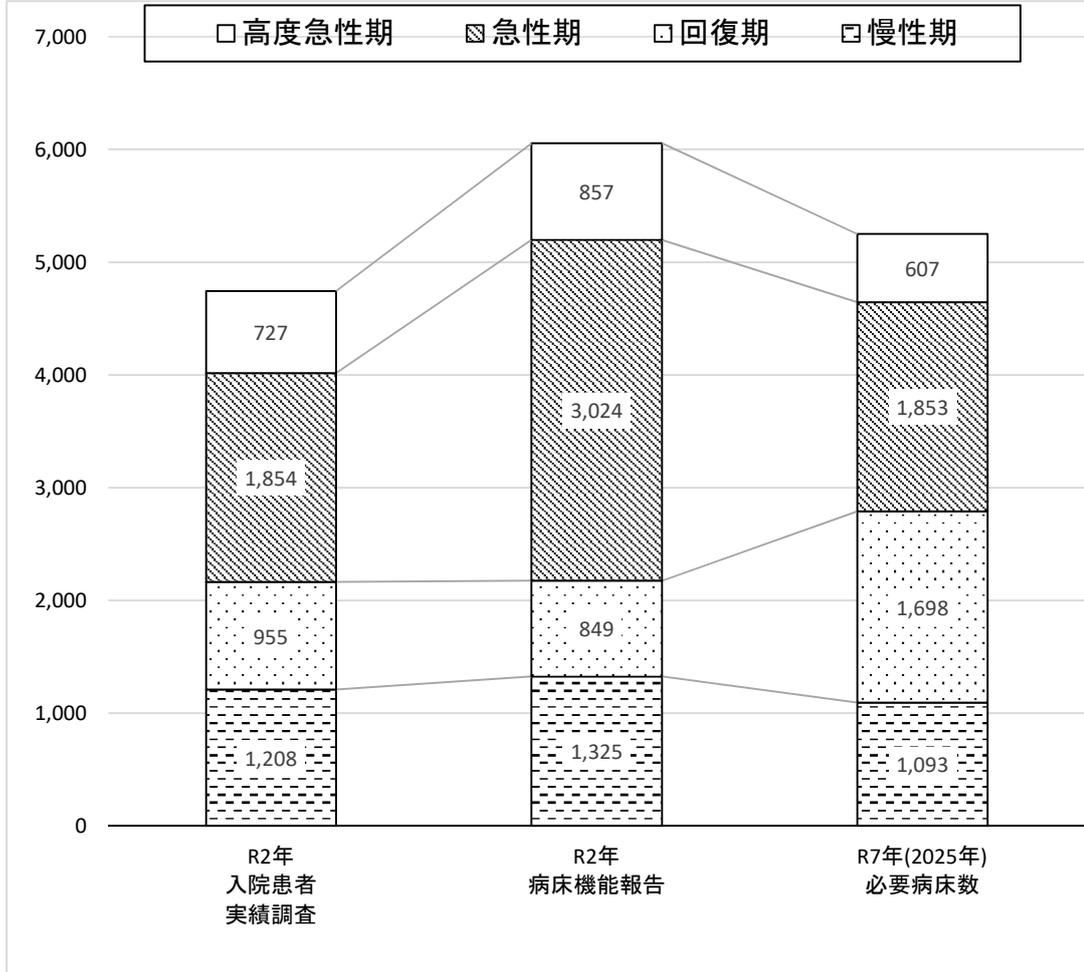
1 香川県全体



医療機能	R2年 入院患者 実績調査	R2年 病床機能報告	R7年(2025年) 必要病床数
高度急性期	1,074	998	1,046
急性期	3,077	5,694	3,386
回復期	2,109	1,986	3,396
慢性期	3,134	2,858	2,284
合計	9,394	11,536	10,112

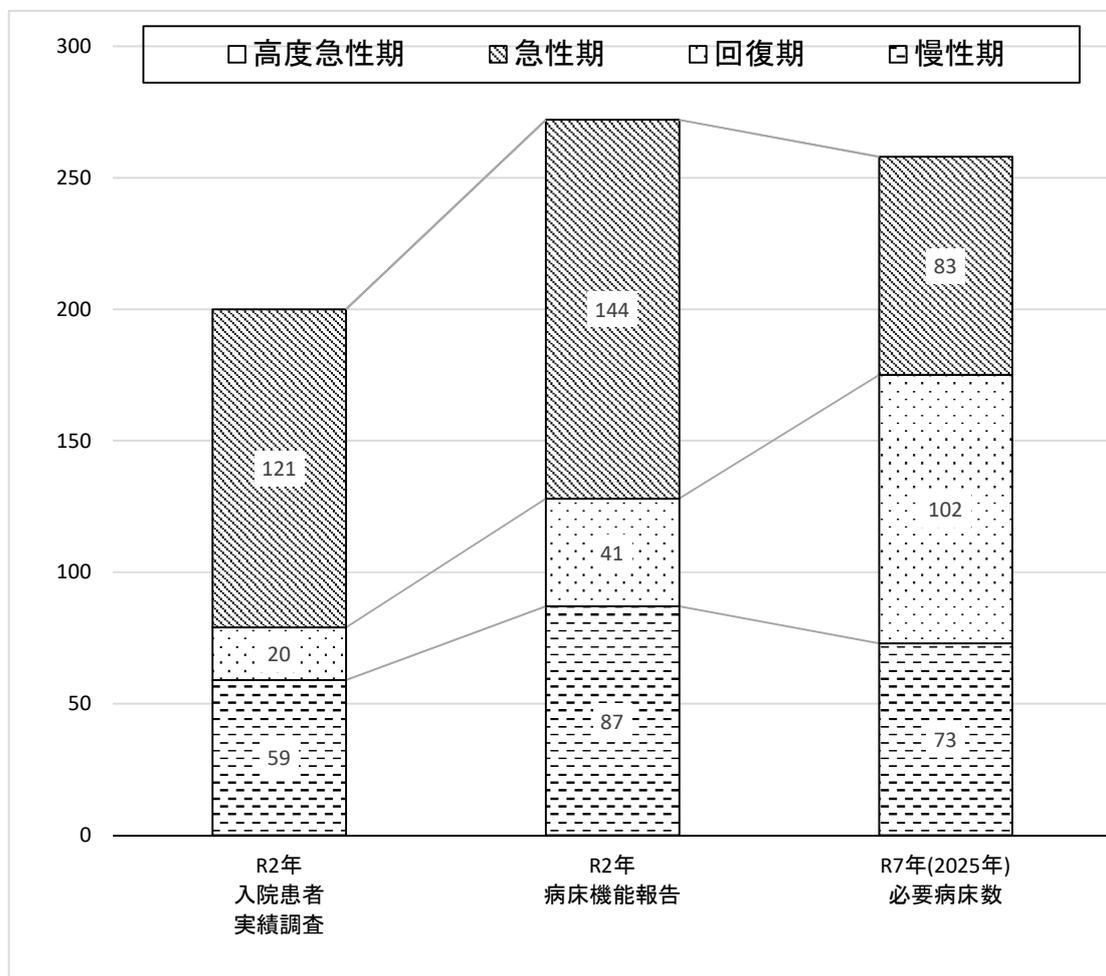
※ 入院患者実績調査の数値は、各医療機関から報告があった病床数を、地域医療構想で想定する稼働率（高度急性期75%、急性期78%、回復期90%、慢性期92%）で割戻した病床数である。

2 構想区域別 (1) 東部構想区域



医療機能	R2年 入院患者 実績調査	R2年 病床機能報告	R7年(2025年) 必要病床数
高度急性期	727	857	607
急性期	1,854	3,024	1,853
回復期	955	849	1,698
慢性期	1,208	1,325	1,093
合計	4,744	6,055	5,251

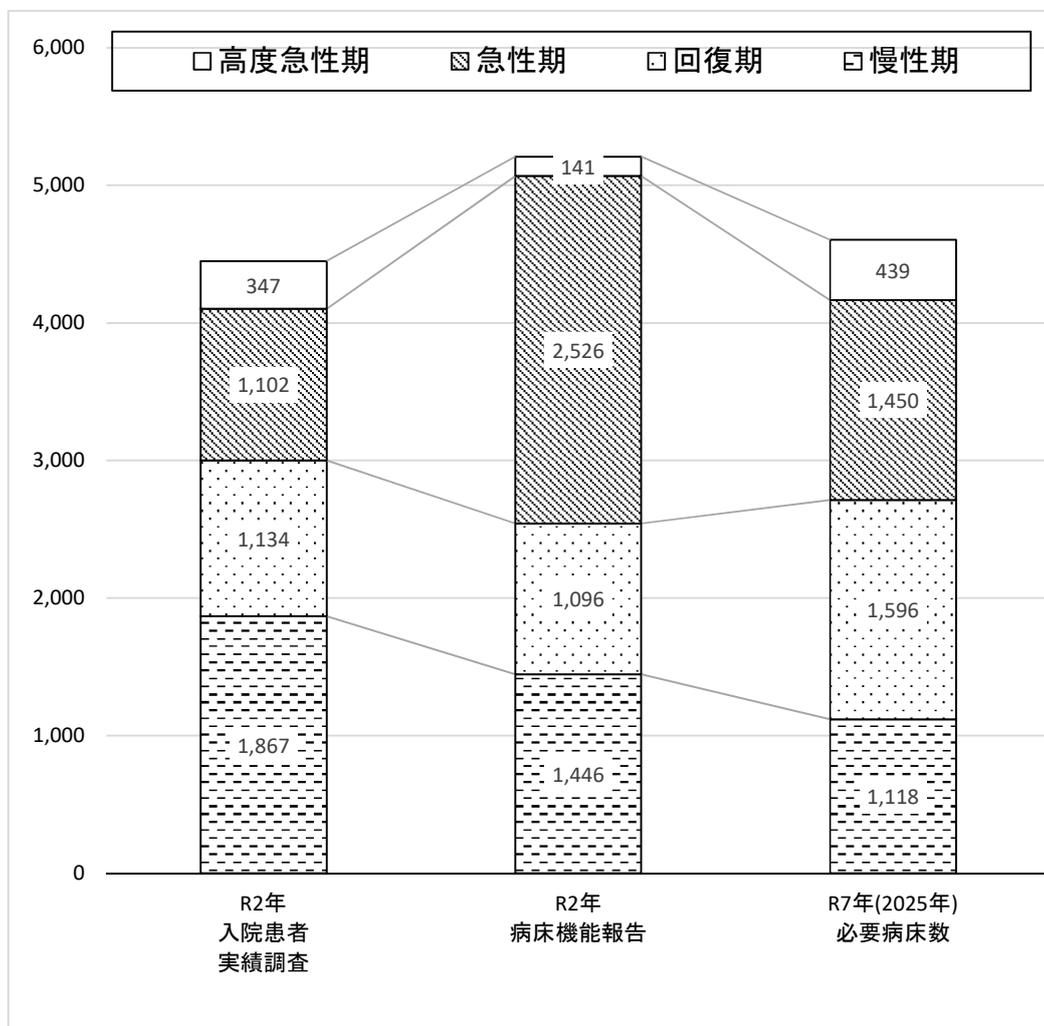
(2) 小豆構想区域



医療機能	R2年入院患者実績調査	R2年病床機能報告	R7年(2025年)必要病床数
高度急性期	0	0	10未満
急性期	121	144	83
回復期	20	41	102
慢性期	59	87	73
合計	200	272	258

※1 合計においては、高度急性期の10未満の数値を0として計算している。

(3) 西部構想区域



医療機能	R2年 入院患者 実績調査	R2年 病床機能報告	R7年(2025年) 必要病床数
高度急性期	347	141	439
急性期	1,102	2,526	1,450
回復期	1,134	1,096	1,596
慢性期	1,867	1,446	1,118
合計	4,450	5,209	4,603

3 医国第 4 0 3 6 7 号
令和 3 年 1 0 月 1 8 日

各医療機関の長 様

香川県健康福祉部医務国保課長

入院患者実績調査の実施について（照会）

本県の医療行政の推進につきましては、日ごろ格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、香川県地域医療構想では、令和 7 年（2 0 2 5 年）における病床機能別の必要病床数を定め、毎年度実施する病床機能報告の病床数と比較しながら、各構想区域における病床の機能分化・連携について協議を進めております。

しかし、病床機能報告の機能別病床数は、各医療機関が主観的に判断した機能を病棟単位で報告する制度上、医療機関ごとに病床機能の評価にばらつきが生じ、また、日々の患者の状況に応じて病床ごとの機能が変わっていく現実を反映しておらず、必要病床数との単純な比較に無理があると地域医療構想調整会議での協議の中で指摘がなされている状況にあります。

そこで、各医療機関の皆様に病床機能報告に加え、入院患者実績調査への御協力をお願いしたいと考えております。

各医療機関の皆様にはお手数をおかけしますが、より実態に近い機能別の病床数を把握し、地域医療構想調整会議での協議をより実りあるものとするため、病床機能報告と入院患者実績調査への回答に御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

また、併せて、令和 2 年度病床機能報告及び入院患者実績調査の結果について別添のとおりお知らせします。

記

1 回答期限

令和3年11月30日（火）

2 回答方法

別添の「入院患者実績調査報告」を記入のうえ、下記回答先まで FAX、e-mail で回答ください。

回答様式のエクセルシートを希望の医療機関については、下記メールアドレスまでその旨記載したメールを送信ください。メールへの返信で様式を送付します。

なお、昨年度の入院患者実績調査と様式は同じですので、昨年度のエクセルシートをお持ちの医療機関については、当該エクセルシートに令和3年7月1日から7月7日までの実績を入力の上、提出いただいて差し支えありません。

3 回答先

香川県健康福祉部医務国保課 二宮

TEL 087-832-3256

FAX 087-806-0248

e-mail hp7527@pref.kagawa.lg.jp

4 入院患者実績調査の考え方

○調査対象

各医療機関において、調査年7月1日から7月7日までの期間内に稼働した病床の機能。

○病床機能について

調査対象となる病床で投入した医療資源投入量に応じて医療機能を評価する。

病床機能

高度急性期 医療資源投入量 3,000点以上

急性期 医療資源投入量 600点以上3,000点未満

回復期 医療資源投入量 175点以上 600点未満

回復期リハビリテーション病棟入院料、地域包括ケア病棟入院料を算定する入院患者

慢性期 医療資源投入量 175点未満

医療資源投入量

医療資源投入量 =

患者 1 日当たり診療報酬－入院基本料相当分－リハビリテーション料

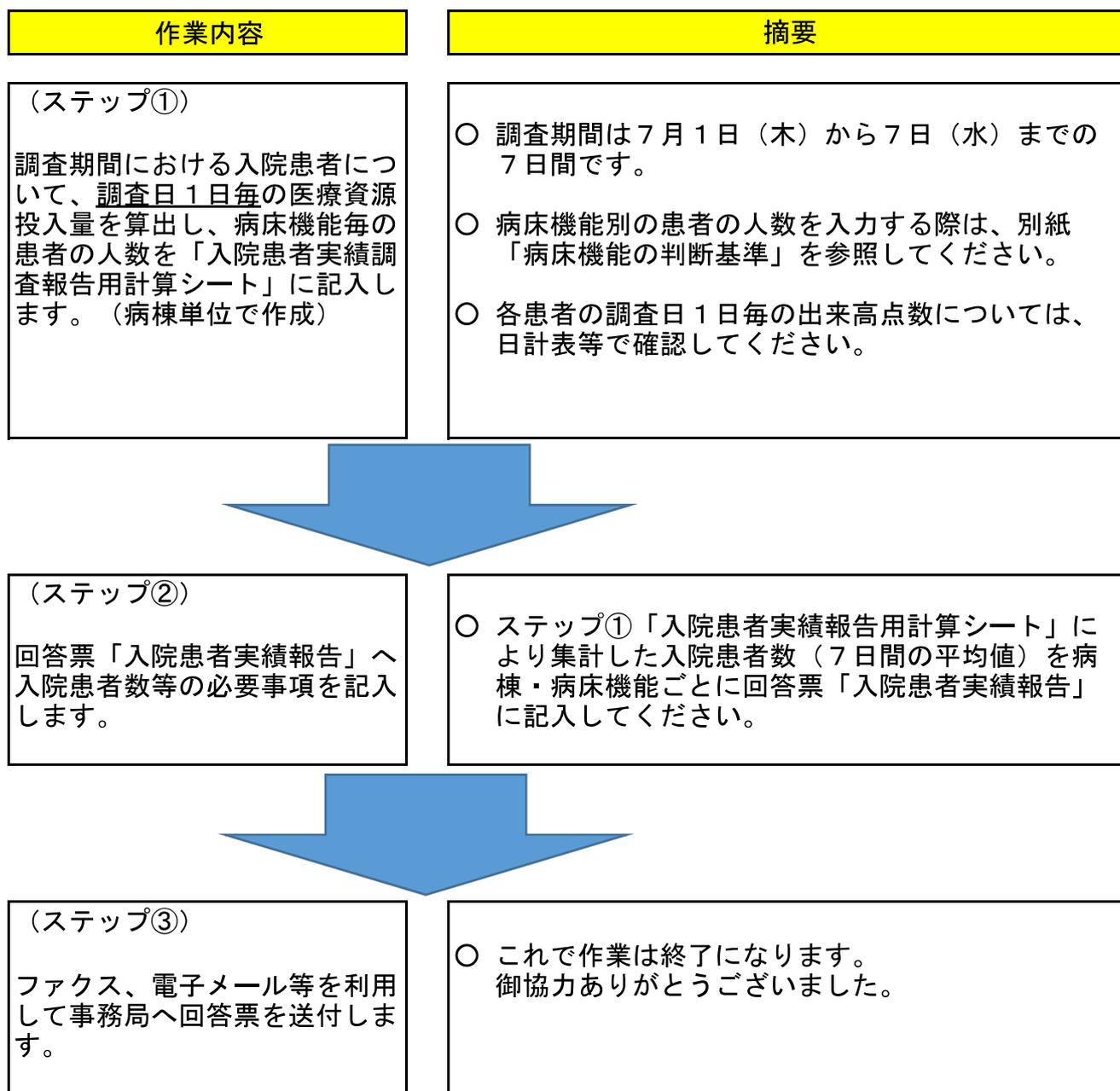
※DPC対象病院については、出来高点数に換算した後、入院基本料相当分及びリハビリテーション料を除いてください。

※**回復期リハビリテーション病棟入院料、地域包括ケア病棟入院料**を算定する入院患者については、医療資源投入量を算出する必要はありません。入院患者数をそのまま、回復期機能病床の患者数として計上ください。

5 入院患者実績調査の留意事項

- 入院患者実績調査の回答は、構想区域ごと、機能別に集計し、香川県地域医療構想に定める必要病床数算定の前提となっている病床稼働率で割り戻して、地域医療構想調整会議で協議の資料として活用することとしております。
- 病床機能報告回答に当たって、入院患者実績調査の回答を参考に、各病棟の病床機能を評価いただくことを御検討くださいますようお願いいたします。
- 入院患者実績調査の結果に基づいて、個々の医療機関に指導、助言等を行うことはなく、構想区域毎の実態に近い機能別病床の状況を把握することを目的としております。
- 個々の医療機関の調査結果については、公表しないこととしております。

入院患者実績調査報告 フロー



【送付先】

香川県健康福祉部医務国保課

担当：二宮

TEL：087-832-3256

FAX：087-806-0248

E-mail：hp7527@pref.kagawa.lg.jp

(回答票)

入院患者実績調査報告

○病棟ごとに、別紙「入院患者実績調査報告計算シート」から算出した入院患者（7月1日～7日の平均）を記載して下さい。

○各医療機能の記入については、別紙「病床機能の判断基準」を参照ください。

○本調査は、個別の医療機関の病床数を議論するものではなく、各構想区域ごとの病床機能の現状を把握し、必要病床数と比較するための参考としてのみ使用しますので、判断基準を参考に率直にお答えください。

なお、必要病床数と比較する際には、構想策定時に国が定めた病床稼働率（高度急性期75%、急性期78%、回復期90%、慢性期92%）で割り戻した病床数と比較する予定です。

（例）急性期病床数＝本調査による入院患者数／0.78

○本調査での個別の回答内容は非公開とし、構想区域ごとの集計結果を地域医療構想調整会議で議論する予定です。また、本調査が診療報酬に影響を与えるものではありません。

医療機関名		
報告 担当者	氏名	
	部署・役職	
連絡先	電話	
	ファクシミリ	
	e-mail	

1 病院

病棟名	許可 病床数	稼働 or 非稼働	入院患者数（1日当たり平均）（人）					備考
			高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	
合計								

※病棟数の関係で、表の欄が不足する場合には、追加しての記載をお願いします。

2 有床診療所

許可 病床数	稼働 or 非稼働	入院患者数（1日当たり平均）（人）					備考
		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	

3 病床機能報告の回答状況

病床機能報告	様式1	回答済	未回答	未回答の場合の回 答目途	令和 年 月 日
	様式2	回答済	未回答		令和 年 月 日

○御協力いただきありがとうございました。

別途御報告いただく病床機能報告は、病棟単位の報告になりますが、各病棟の病床機能の選択を行う際には、上記結果を考慮して報告することを御検討ください。

(回答票)

入院患者実績調査報告 (案)

○「入院患者実績調査報告計算シート」から算出した入院患者（7月1日～7日の平均）を記載して下さい。

○各医療機能の記入については、別紙「病床機能の判断基準」を参照ください。

○本調査は、個別の医療機関の病床数を議論するものではなく、各構想区域ごとの病床機能の現状を把握し、必要病床数と比較するための参考としてのみ使用しますので、判断基準を参考に率直にお答えください。

なお、必要病床数と比較する際には、構想策定時に国が定めた病床稼働率（高度急性期75%、急性期78%、回復期90%、慢性期92%）で割り戻した病床数と比較する予定です。（例）急性期病床数＝本調査による入院患者数／0.78

○本調査での個別の回答内容は非公開とし、構想区域ごとの集計結果を地域医療構想調整会議で議論する予定です。また、本調査が診療報酬に影響を与えるものではありません。

医療機関名		
報告 担当者	氏名	
	部署・役職	
連絡先	電話	
	ファクシミリ	
	e-mail	

1 病院

病棟名	許可 病床数	稼働 or 非稼働	入院患者数（1日当たり平均）（人）					備考
			高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	
A病棟	40	稼働	4.1	14.3	9.3	2.1	29.9	
B病棟	40	稼働	5.0	10.3	10.1		25.4	
C病棟	40	稼働		12.5	10.5	5.2	28.2	
D病棟	40	非稼働						
合計	160		9.1	37.1	29.9	7.3	83.5	

※病棟数の関係で、表の欄が不足する場合には、追加しての記載をお願いします。

2 有床診療所

許可 病床数	稼働 or 非稼働	入院患者数（1日当たり平均）（人）					備考
		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	
19	稼働			5.3	10.5	15.8	

3 病床機能報告の回答状況

病床機能報告	様式1	回答済	未回答	未回答の場合の回 答目途	令和4年2月28日
	様式2	回答済	未回答		

○御協力いただきありがとうございました。

別途御報告いただく病床機能報告は、病棟単位の報告になりますが、各病棟の病床機能の選択を行う際には、上記結果を考慮して報告することを御検討ください。

入院患者実績調査報告用 計算シート

①病棟ごとに、7月1から7日の1週間の1日毎の入院患者を、(別紙)「病床機能の判断基準」により病床機能(「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」)に、1日毎に振り分け、入力してください。

病棟名	
病棟許可病床数	

年月日	入院患者数延べ数(人・日)				
	高度	急性期	回復期	慢性期	合計
2021.7.1					0
2021.7.2					0
2021.7.3					0
2021.7.4					0
2021.7.5					0
2021.7.6					0
2021.7.7					0
合計(A)	0	0	0	0	0
入院患者数 (1日当たり平均) (B)=(A)/7日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②計算結果を回答票「入院患者実績調査報告」に記載してください。

入院患者実績調査報告用 計算シート

①病棟ごとに、7月1から7日の1週間の1日毎の入院患者を、(別紙)「病床機能の判断基準」により病床機能(「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」)に、1日毎に振り分け、入力してください。

病棟名	A病棟
病棟許可病床数	40

年月日	入院患者数(延べ数)				合計
	高度	急性期	回復期	慢性期	
2021.7.1	2	10	15		27
2021.7.2	5	15	10		30
2021.7.3	2	10	15		27
2021.7.4	4	10	10	5	29
2021.7.5	6	15	5	10	36
2021.7.6	6	20	5		31
2021.7.7	4	20	5		29
合計(A)	29	100	65	15	209
入院患者数 (1日当たり平均) (B)=(A)/7日	4.1	14.3	9.3	2.1	29.9

②計算結果を入院患者実績調査報告に記載してください。

病床機能の判断基準

●病床機能の判断基準について

- 患者ごとの病床機能を判断する際には、次の判断基準により御記入ください。

病床機能	判断基準（医療資源投入量等）
高度急性期	・ 医療資源投入量： <u>3,000点以上</u>
急性期	・ 医療資源投入量： <u>600点以上～3,000点未満</u> ※早期リハビリテーション加算を算定する入院患者にあってリハビリテーション料を加えて医療資源投入量が600点以上となるものを含む
回復期	・ 医療資源投入量： <u>175点以上～600点未満</u> ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料、地域包括ケア病棟入院料を算定する入院患者
慢性期	・ 一般病床の障害者数・難病患者数（障害者施設等入院基本料、特定疾患病棟入院基本料及び特殊疾患入院医療管理料を算定している患者数） ・ 療養病床の入院患者 ・ 医療資源投入量： <u>175点未満</u>

●医療資源投入量について

- 「医療資源投入量」とは、患者に提供される医療を1日当たりの診療報酬（入院基本料相当分及びリハビリテーション料を除く。）の出来高点数により換算した量としてください。

$$\text{医療資源投入量} = \text{患者1日当たり診療報酬} - \text{入院基本料相当分} - \text{リハビリテーション料}$$

- DPC対象病院については、出来高点数に換算した後、入院基本料相当分及びリハビリテーション料を除いてください。

病床単位の医療機能別入院患者実績調査の考え方

- 病床機能報告（病棟単位）
 - 各病棟で最も多くの割合を占める機能を、当該病棟の機能として報告
- 今回の調査（病床単位）
 - 各病棟内の機能別病床数の内訳を、別紙判断項目を参照に、患者数（病床単位）で把握

